

2009年度日本語教育学会秋季大会

主催:社団法人日本語教育学会 / 共催:九州大学
後援:財団法人福岡観光コンベンションビューロー / 協力:九州日本語教育連絡協議会
開催日:2009年10月10日(土), 11日(日) / 会場:九州大学箱崎キャンパス
予稿集代:会員=4,000円 一般=5,000円 / 懇親会費:3,000円
参加申込:大会当日受付でお申し出ください / 連絡先:090-1999-3315(当日のみ)

お知らせ

参加の際には予稿集の購入が必要となります。また、会員の方は会員証を必ず持参ください。

(第1日) 10月10日(土)

評議員懇談会	創立五十周年記念講堂 4階 大会議室	10:00~12:00
開会式	創立五十周年記念講堂 1階 大講堂	13:00~13:30
	司会 二通 信子 (大会委員長)	
	会長挨拶 尾崎 明人 (日本語教育学会会長)	
	開催校挨拶 水田 祥代氏 (九州大学理事・副学長)	
シンポジウム	創立五十周年記念講堂 1階 大講堂	13:30~17:00

新しい日本語能力試験が目指すもの

日本語能力試験は、2010年から「課題遂行のための言語コミュニケーション能力」を測る試験を目指して新しく生まれ変わります。日本語教育に大きな影響を与えると予測され、試験そのものに対する関心も高まっています。この機会に、言語教育における大規模テストというより大きな枠組みの中で新しい日本語能力試験を捉え、その理念や開発過程を紹介したいと考えました。

シンポジウムでは、まず、言語テストに求められるものは何かという問題意識を共有し、その上で、新しい日本語能力試験が目指す理念をどのように問題開発に反映させているか、具体例も示しながら説明します。さらに、試行試験データを用いた検証結果や、近年のテスト理論の発展をふまえた得点の算出法について報告し、日本語教育における大規模試験のあり方を考えたいと思います。

<運営担当大会委員> 松岡 洋子

司会: 堀 恵子氏 ((独)国際交流基金日本語試験センター)

第1部 発表

言語テストの諸問題	大友 賢二氏 (筑波大学名誉教授)
新日本語能力試験の基本設計	大隅 敦子氏 ((独)国際交流基金日本語試験センター)
試験問題の開発	
言語知識 文字語彙	谷内美智子氏 ((独)国際交流基金日本語試験センター)
言語知識 文法	小野澤佳恵氏 ((独)国際交流基金日本語試験センター)
読解	篠崎 摂子氏 ((独)国際交流基金日本語試験センター)
聴解	浅見かおり氏 ((独)国際交流基金日本語試験センター)
試験問題の検証と尺度得点表示	野口 裕之氏 (名古屋大学)・小森 和子氏 (九州大学)

第2部 質疑応答

懇親会	ファカルティクラブ	17:30~19:30
-----	-----------	-------------

(第2日) 10月11日(日) 文系講義棟・演習棟

パネルセッション	1階 大講義室, 中講義室, 101 教室	10:00~15:45
口頭発表	2階 201, 202, 3階 301, 302 教室	10:20~16:15
ポスター発表	3階 303, 304, 305 教室	10:00~15:45
デモンストレーション	2階 205, 206 教室	10:00~15:45

【パネルセッション】

【第1会場】1階 大講義室

- ① 10:00～12:00 多様な言語文化背景をもつ子どもたちへの日本語教育に携わる教員および
教員養成系大学の学生の認識 -教師のキャリア形成の視点から-
浜田麻里(京都教育大学), 市瀬智紀(宮城教育大学), 徳井厚子(信州大学),
金田智子((独)国立国語研究所), 齋藤ひろみ(東京学芸大学)
- ② 13:45～15:45 EPA による外国人看護師・介護福祉士候補者の受け入れと日本語教育
-国家試験に関連した動きと展望-
三枝令子(一橋大学), 奥田尚甲(広島大学大学院生),
石川陽子(首都大学東京), 奥村訓代(高知大学), 遠藤織枝(元文教大学)

【第2会場】1階 中講義室

- ① 10:00～12:00 大学授業における留学生と日本語母語話者学生との協働の学びの場の設計
大島弥生(東京海洋大学), 岩田夏穂(同), 岡本能里子(東京国際大学),
小笠恵美子(東海大学)
- ② 13:45～15:45 日本人と結婚した外国人女性の社会参加と初期日本語教育
-日本語教育を受ける機会のなかったケースの分析から-
内海由美子(山形大学), 富谷玲子(神奈川大学), 山田泉(法政大学)

【第3会場】1階 101教室

- ① 10:00～12:00 中国語母語話者による日本語動詞の自他の習得
杉村泰(名古屋大学大学院), 建石始(鹿児島県立短期大学),
庵功雄(一橋大学), 稲垣俊史(大阪府立大学)
- ② 13:45～15:45 「自律学習」を問いなおす
齋藤伸子(桜美林大学), 林さと子(津田塾大学), 梅田康子(愛知大学),
春原憲一郎((財)海外技術者研修協会)

【口頭発表】

【第1会場】2階 201教室

- ① 10:20～10:50 中間言語の変異性 -「結果の状態」用法の「ている」の習得過程に関する縦断研究-
簡卉雯(東北大学大学院生)
- ② 10:55～11:25 留学生と日本人学生を対象とした多文化交流授業の意味 -受講生の視点からの質的分析-
藤美帆(九州大学大学院生)
- ③ 11:30～12:00 交換留学生の日本語学習過程における意識の変化
-学習環境と日本語学習との関わりを中心に-
古川敦子(一橋大学大学院生)
- ④ 13:45～14:15 介護現場での実態調査を基にした介護語彙リスト作成
-外国人介護士のための日本語学習支援を目指して-
野村愛(株式会社キーマックスマリタイム), 川村よし子(東京国際大学)
- ⑤ 14:20～14:50 EPA によるインドネシア看護師・介護福祉士候補者受入研修の現状と課題(2)
-研修デザインという視点から-
神吉宇一((財)海外技術者研修協会), 布尾勝一郎(同), 羽澤志穂(同)
- ⑥ 15:10～15:40 「やさしい日本語」を用いた公文書の書き換え
-多文化共生と日本語教育文法の接点を求めて-
庵功雄(一橋大学), 岩田一成(広島市立大学), 森篤嗣((独)国立国語研究所)

- ⑦ 15:45～16:15 日本語学習における身体的コミュニケーションの役割
-地域に根ざすまほろば国際プロジェクト-
Gehrtz 三隅友子(徳島大学)

(第2会場) 2階 202教室

- ① 10:20～10:50 中国人日本語学習者の事実文・意見文に対する認識能力の習得に関する分析
-日本語文と中国語文における認識状況の比較-
田中舞(関西大学大学院生)
- ② 10:55～11:25 中国人日本語学習者の授受動詞文理解を難しくさせる要因について
-視点制約と方向性に着目して-
武村美和(広島大学大学院生)
- ③ 11:30～12:00 生涯教育における日本語能力試験の位置づけ -香港の生涯教育の事例研究-
米本和弘(マギル大学大学院生)
- ④ 13:45～14:15 メディア・リテラシー要素を取り入れた日本語教育の実践
-日韓報道を比較して韓国人大学生は何を見つけたか-
近藤有美(啓明大学)
- ⑤ 14:20～14:50 謝罪行動の日韓対照研究 -ボライトネス理論の観点から-
鄭賢児(東京外国語大学大学院生)
- ⑥ 15:10～15:40 第二言語を使って生きるという体験 -アイデンティティの(再)構築をめぐる-
中山亜紀子(佐賀大学)
- ⑦ 15:45～16:15 私も「移動する子ども」だった -幼少期に多言語環境で成長した成人日本語使用者の言語習得と言語能力観についての質的調査-
川上郁雄(早稲田大学大学院)

(第3会場) 3階 301教室

- ① 10:20～10:50 学習者作文に対する評価の観点と、その重みづけに基づく評価者グルーピングの試み
宇佐美洋((独)国立国語研究所)
- ② 10:55～11:25 類義語の「文体的特徴」について学習者が持つ知識と運用 -副詞を中心に-
前坊香菜子(一橋大学大学院生)
- ③ 11:30～12:00 原文の文章構造は日本語学習者の要約文でどのように言い換えられるか
-「言い換え」による上級日本語学習者の新聞記事の要約文の分析-
木戸光子(筑波大学)
- ④ 13:45～14:15 香港のビジネス接触場面における日本語母語話者と学習者に生じる問題
-問題意識のずれの修正は可能か-
粟飯原志宣(香港大学專業進修学院)
- ⑤ 14:20～14:50 博士課程修了の留学生は日本企業が求める能力・資質をどのように認識しているのか
古市由美子(東京大学), 山崎佳子(同)
- ⑥ 15:10～15:40 協働活動を中心とした日本語教育実習における実習生の自己変容
-テキストマイニング手法によるアンケート結果分析にみる教師観・学習観の変化-
谷啓子(東京女子大学), 藤川美穂(学習院大学), 石井恵理子(東京女子大学)
- ⑦ 15:45～16:15 地域貢献に向けてのピラー形成のプロセス
-活動の文字化データを活用した日本語教育実習を事例として-
横内美保子(浜松学院大学), 米勢治子(同)

(第4会場) 3階 302教室

- ① 10:20～10:50 インターネット使用が学習ピリフに与える影響
-エジプト・モロッコの調査結果をもとに-
藤森弘子(東京外国語大学), 山下貴子(東京外国語大学大学院生),
藤村知子(東京外国語大学)
- ② 10:55～11:25 日本語能力試験における視覚障害者受験特別措置の現状と課題
-点字冊子試験の試験時間延長および文字数削減による負担軽減について-
河住有希子((財)日本国際教育支援協会), 込宮麻紀子(同), 藤田恵(同)
- ③ 11:30～12:00 聞き取りにおける推測・予測のストラテジー使用と手がかり
蒔田雅子(名古屋外国語大学大学院生)
- ④ 13:45～14:15 会話授業における演劇的手法の有効性
-インプロ(Improvisation)の利用が学習意欲に与える影響-
大出美和子(法政大学)
- ⑤ 14:20～14:50 使用基盤モデルに基づいた初級学習者向け映像日本語教材の紹介
-教室内における使用基盤第二言語学習を支援する映像教材作成の試み-
都築鉄平(南山大学大学院生), 了戒直江(Yamasa 言語文化研究所)
- ⑥ 15:10～15:40 落語の小噺を利用した日本語および日本文化教育の評価と支援システムの構築
畑佐一味(ミドルベリー大学日本語学校)

【ポスター発表】

(第1会場) 3階 303教室 10:00～12:00 13:45～15:45

- 中級日本語学習者の聴解と音韻的作動記憶との関係
福田倫子(文教大学), 佐藤礼子(東京工業大学)
- 留学生のための日本語コース(JLC)における受講管理オンラインシステムの開発・導入とその実践
大神智春(九州大学), 郭俊海(同)
- 中国人学習者を対象とする日本語複合動詞「～あがる／あげる」の習得調査
張超(中国上海海事大学外国語学院), 川崎千枝見(広島国際学院大学), 福田倫子(文教大学)
- 人間関係と多文化共生を重視した教材開発
-大連市中学第二外国語教育用教材『好朋友—ともだち—』の試み-
加納陸人(文教大学), 中新井綾子(元青年海外協力隊隊員),
藤光由子(西オーストラリア州教育省), 大船ちさと((財)国際文化フォーラム)

(第2会場) 3階 304教室 10:00～12:00 13:45～15:45

- インターアクション能力の育成を目指したビジネス日本語教育
西頭由紀子(九州大学), 川邊理恵(同), 山田明子(同)
- シャドーイングを支える言語能力と認知能力 -台湾人日本語学習者を対象とした重回帰分析による検討-
倉田久美子(広島大学大学院生), 岩下真澄(同), 松見法男(広島大学), 李翠芳(東呉大学)
- 学習者の気づきを促すeラーニングの活用
藤村知子(東京外国語大学), 芝野耕司(同), 佐野洋(東京外国語大学大学院生),
藤森弘子(東京外国語大学)
- 未習項目である言語行為領域の接続助詞カラの習得過程
斎藤信浩(名古屋大学大学院生)

(第3会場) 3階 305教室 10:00～12:00 13:45～15:45

- 学部留学生のための経済の基本語彙
小宮千鶴子(早稲田大学大学院)

- 留学生の就職支援のための「ビジネス日本語教育」において日本語教員に求められるものは何か
堀井恵子(武蔵野大学)
- 逆文献頻度と文字の難易度に基づく単語レベル判定システムの構築
北村達也(甲南大学), 川村よし子(東京国際大学)
- 「NIEを導入した日本語授業」-日本語教育における新聞の多面的な活用の可能性-
宮弘美(東京国際大学附属日本語学校)
- 自然会話における「のだが」類の使用
齋藤綾子(早稲田大学大学院生)
- 日本語学習者の外来語習得に関わる要因について
上野山愛弥(学校法人木村学園大阪電子専門学校)
- 作文における教師の非明示的フィードバックの有効性
石橋玲子(タイ国立チュラーロンコーン大学大学院)
- 介護分野における初級からの専門日本語科目のコースデザイン
登里民子((独)国際交流基金関西国際センター), 石井容子(同), 上田和子(武庫川女子大学),
栗原幸則((独)国際交流基金関西国際センター)
- 文法モニタリングの習得を目指した授業実践の試み
中川美保((財)ひろしま国際センター), 犬飼康弘(同)
- Moodleを利用したWebベースの自習用漢字読みクイズの構築
新城直樹(一橋大学), 宮田公治(松蔭大学)

【デモンストレーション】

【第1会場】 2階 205教室 10:00~12:00 13:45~15:45

- 音声認識技術を利用した日本語発音練習システムの開発
岩田之男(学校法人長沼スクール東京日本語学校), 清水政明(大阪大学),
西村尚(学校法人長沼スクール東京日本語学校)
- コンピュータベースの日本語発話能力評価システム
堀川有美((独)国際交流基金日本語試験センター),
和田晃子(元(独)国際交流基金日本語試験センター), 野口裕之(名古屋大学大学院)

【第2会場】 2階 206教室 10:00~12:00 13:45~15:45

- 日本語文法のハイパーメディア事典(NBHJ)
Marcella Maria MARIOTTI(国際基督教大学)
- 日本語未習者のための渡日前学習用 e-learning 教材
中溝朋子(山口大学)
- コロケーション学習のための e-learning 教材開発
坂井美恵子(大分大学), 金森由美(同), 中溝朋子(山口大学)
- コンピュータによる日本語能力判定システム:J-CAT
今井新悟(山口大学), 伊東祐郎(東京外国語大学), 赤木彌生(山口大学),
中園博美(島根大学), 本田明子(立命館アジア太平洋大学)

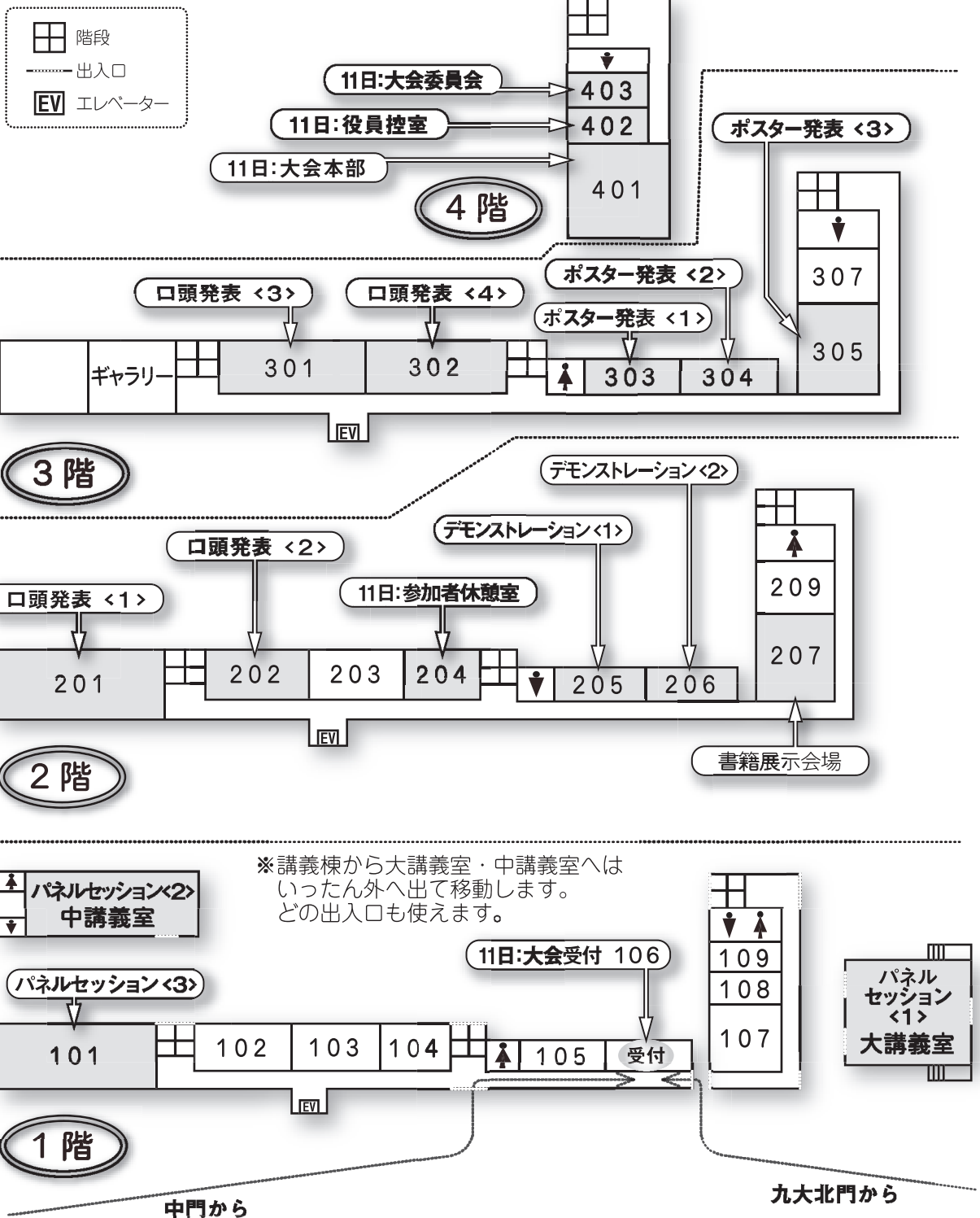
【日本留学試験「日本語」改定案について】(独)日本学生支援機構

【会場】 1階 大講義室 12:20~12:50

【日本語教育能力検定試験の改定について】(財)日本国際教育支援協会

【会場】 1階 大講義室 12:55~13:25

会場案内図 11日(日)大会2日目——文系講義棟・演習棟



会場への交通案内——九州大学箱崎キャンパス

◎所要時間は、おおよその目安として記載してあります。

【会場最寄り駅・バス停留所まで】

●福岡空港から

<地下鉄> 福岡空港駅《市営地下鉄空港線（姪浜・唐津方面）＝9分》→
→中洲川端駅《市営地下鉄箱崎線（貝塚方面）＝8分》→箱崎九大前駅

●博多から

<地下鉄> 博多駅《市営地下鉄空港線（姪浜・唐津方面）＝4分》→
→中洲川端駅《市営地下鉄箱崎線（貝塚方面）＝8分》→箱崎九大前駅

<JR> 博多駅《JR鹿児島本線（小倉方面）＝5分》→箱崎駅

<バス> 博多駅交通センター（1階、博多駅の博多口に隣接）《29, 29-1番＝25分（220円）》→
→箱崎松原（1日目）または九大北門（2日目） ※15～20分間隔で運行

●天神から

<地下鉄> 天神駅《市営地下鉄空港線（福岡空港方面）＝2分》→
→中洲川端駅《市営地下鉄箱崎線（貝塚方面）＝8分》→箱崎九大前駅

<バス> 天神ソラリアステージ前《25番＝20分（220円）》→
→箱崎松原（1日目）または九大北門（2日目）
天神郵便局前《4, 4-1, 21, 22, 23, 23-2, 24, 27番＝15分（220円）》→
→箱崎松原（1日目）または九大北門（2日目）

【会場最寄り駅から九州大学箱崎キャンパスまで】

●地下鉄 箱崎九大前駅から

徒歩10分

●JR箱崎駅から

徒歩20分

◎学会HPにリンクがある「九州大学大会ホームページ」

<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/taikai/home.html>の

「大会関連情報」にアクセス情報(写真付き)等があります。

【タクシー】

福交運輸事業協同組合：092-822-1234

【会場所在地】

〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目10番1号

